

万一のUPZ圏外住民の避難に備えたヨウ素剤の備蓄体制について

参考

- ・全国5地域に合計200万丸（成人100万人分）のヨウ素剤を備蓄。どこで発災しても2日目には40万丸、7日目までには200万丸全てが配布できる体制を構築する。
- ・さらに、不足の場合には、民間工場での全力生産及び海外からの援助等により、災害がどれだけ拡大しても対応可能な体制とする。
- ・3か年を目途に体制整備を完了する。

